

教科名	理科	科目名	物理基礎	
科目の目標	物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。			
履修学年	第2学年	学科・コース	全科	
単位数	2単位	授業形態	一斉授業・必修	
教科書	考える物理基礎（啓林館）	副教材等	レッツトライノート（東京書籍）	
1 学習の目標 (1) 日常に起こる物体の運動を基本的な概念や法則から理解し、運動とエネルギーについての基礎的な見方や考え方を身につける。 (2) 熱・波・電気や磁気に関する現象を探究し、それらの基本的な概念や法則を理解し、熱・波・電気や磁気についての基礎的な見方や考え方を身につける。 (3) 物理基礎で学んだ事柄が、日常生活やそれを支えている科学技術と結びついていることを理解する。				
2 学習内容と進め方 教科書を中心に、副教材・プリントを活用し問題演習を繰り返しながら進める。				
3 学習の留意点 (1) 身近なものに関心を持ち、常に探求する心を持つ。 (2) 副教材・プリントを活用しながら、自ら学ぶ姿勢をもつ。				
4 評価の方法 (1) 定期考査と問題演習で「知識・理解」を評価する。 (2) レポートで「思考・判断・表現」を評価する。 (3) 授業と小テストで「関心・意欲・態度」を評価する。				
5 授業計画				
月	単元	学習内容	評価の観点	考査等
4	物体の運動とエネルギー	物体の運動について学ぶ。	(1) 授業への取り組み 授業に対する姿勢、学習態度、物理への関心等で判断する。【関】	この単元を自己評価してみよう A B C 期末考査
5		力の性質を学ぶ。		
6		力学的エネルギーについて学ぶ。 力学的エネルギーが保存されることを学ぶ。		
7	熱	熱の本質を知り、エネルギーとの関係を学ぶ。	(2) レポートの記載内容を適切にまとめているか、科学的な思考ができているかなどを評価する。【思】	この単元を自己評価してみよう A B C レポート
8	波	波とは何か、波はどのように伝わるかなどを調べ、波の性質を学ぶ。 音の伝わり方や性質を学ぶ。	(3) 教科書・問題集の問題 各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。【知】	この単元を自己評価してみよう A B C 一斉テスト 中間考査 レポート
9				
10				
11	電気と磁気	静電気や電流など、電気に関わる法則を学ぶ。 電磁誘導や交流、電磁波について学ぶ。	(4) 小テストへの取り組み 前時の内容を理解しているか判断する。【関】	この単元を自己評価してみよう A B C 期末考査 レポート
12	物理と私たちの生活	人類が利用することができる各種エネルギーの特性や利用方法について学ぶ。 物理基礎で学んだことが日常生活や科学技術と結びついていることを学ぶ。	(5) 定期考査 学習内容に合わせて問題を出題する。評価配分がもっとも大きい。【知】	この単元を自己評価してみよう A B C 一斉テスト 学年末考査 レポート
1				
2				
3				

【関】は「関心・意欲・態度」、【思】は「思考・判断・表現」、【知】は「知識・理解」をあらわす。